

# 20年度決算認定



決算特別委員会での審査

## 決算特別委員会で審査

～議員から179件の質疑～

町側からの提案を受けた議会では、直ちに決算特別委員会を設置し、委員長に谷 四男美議員、副委員長に小山 典男議員を選出。上野議長、竹嶋監査委員を除く15名により、3日間にわたって審査を行いました。

一般会計では、前年度と比較して歳入では約9億1,842万円（7.74%）の増、歳出では約3億6,751万円（3.20%）の増となっています。



起立採決の様子（本会議）

一般会計決算における決算委員  
会質疑のピックアップを次ペー  
ジ以降に掲載しております。

各議員の賛否は8ページに記載

今回の議会には、平成20年度一般会計・各特別会計の決算認定の議案が上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成13名、反対3名で、また、各特別会計については全会一致で可決、認定しました。

## 町長が決算議案を提出



石塚町長が決算を提出

決算認定の議案を提出するにあたり、町長から、20年度は町が目指す「人と自然が織りなすまち みずほ」の実現に向けての諸事業を次のとおり実施したとの説明がありました。

なお、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、普通会計における健全化判断比率は健全であると報告がありました。

### 「環境と共生するまちづくり」

- ・環境基本計画の策定
- ・第5分団のポンプ自動車購入

### 「活力ある生活を支えるまちづくり」

- ・コミュニティ振興計画の策定
- ・長岡地域施設基本設計
- ・町営プールのろ過装置取り替え、更衣室ロッカー整備
- ・残堀川ウォーキング開催

### 「自らを高め互いを認め合うまちづくり」

- ・石畑保育園に指定管理者制度導入
- ・第一、第四小学校の耐震補強工事
- ・小中学校で学力調査、漢字検定を実施
- ・姉妹都市であるアメリカ合衆国カリフォルニア州モーガンヒル市へ中学生を派遣
- ・タイ王国へ町民を派遣

### 「まちづくりを推進するための施策」

- ・部制を導入
- ・行政評価委員会を設置

## ●各会計の決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	127億8,530万9,719円	118億4,261万3,854円
国民健康保険	35億1,141万9,557円	34億8,157万8,671円
駅西土地区画整理事業	6億9,674万 893円	6億9,245万8,279円
下水道事業	10億2,793万3,898円	10億2,200万7,139円
特別会計		
老人保健医療	2億1,279万7,941円	2億 335万3,876円
介護保険	14億4,413万2,435円	14億2,990万 799円
後期高齢者医療	3億5,641万7,313円	3億5,549万3,079円
計		
殿ヶ谷財産区	2,183万7,090円	2,022万6,480円
石畑財産区	1,408万5,073円	1,118万1,036円
箱根ヶ崎財産区	878万3,351円	756万3,295円
長岡財産区	57万1,329円	32万9,631円

平成21年第3回定例会は9月2日から25日まで、会期24日間で開催されました。今回の定例会では、20年度各会計の決算認定、「瑞穂町ふれあいセンター」の設置及び管理に関する条例」など、合わせて33件の町長提出議案と、「地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書」など3件の議員提出議案を審議し、すべて原案どおり可決、承認および同意しました。

「一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。（要約）」

### 賛成

小山 典男 議員

歳入では厳しい生活環境・経営環境の中でも、業務が遂行できた。歳出では、中小企業信用保証料、公共工事の前払金の支払対象範囲の拡充、土地区画整理事業の進捗・調査、各指定管理者の事業評価が事務報告書に示され監視機能が一層強化、就学支援のための規則を改正するなど、適正な事務執行がなされたと評価する。

### 反対

大坪 国広 議員

税金や保険料の負担増で苦しむ高齢者に介護保険利用料の町独自の軽減策を実施すべきであった。保育園の待機児対策では、認証保育所の誘致もあったが対策として不十分であった。乳幼児医療費の所得制限撤廃が就学前まで拡大されたことは評価できる内容であった。栗原地区の区画整理は、八高線の複線化や新駅構想の見直しも不明確で、2つの区画整理の問題点を教訓とし、再検討すべきであった。